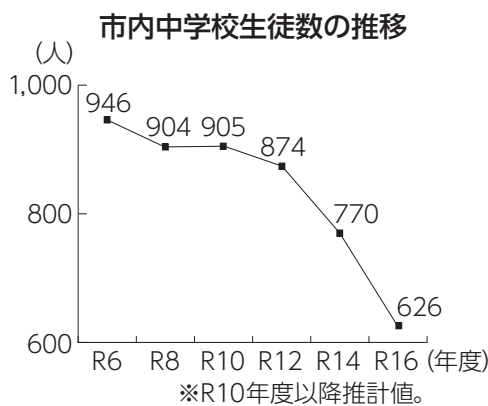


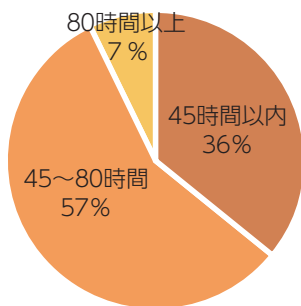


特集 中学校部活動の新しいカタチ 地域で支える地域クラブ活動



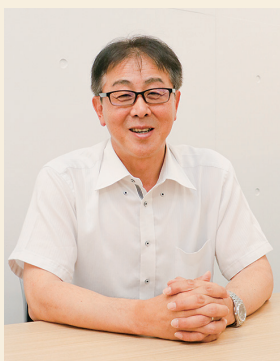
令和4年12月、国から「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」が示されました。これを受け、全国的に少子化や教職員の働き方改革に対応するため、部活動の運営方法の見直しが進められています。市は、令和11年度末を目標に、中学校の部活動を廃止し、総合型地域スポーツクラブが運営する「地域クラブ活動」へ転換します。これは、教職員の働き方改革を進めながら、市内全ての子どもたちが将来にわたって継続的にスポーツや文化芸術活動に親しめる環境を目指すものです。

令和6年度市内中学校教職員月平均残業時間



生徒数の減少
市内中学校の生徒数は令和6年度で946人。出生数から試算すると、令和16年度には626人で約35%の減少が想定されています。すでに、廃部や単独校で団体競技のチームを編成できない状況が生じています。

教職員の長時間労働の是正
長時間労働の要因の一つに、部活動指導があります。顧問になると、平日の授業に加え、放課後や休日にも指導する必要があるため、長時間労働を避けられない状況です。競技経験がない部活動を担当する場合もあり、負担がさらに増すことがあります。



市教育委員会学校教育課指導主幹 谷岡淳

新しい部活動のカタチを、皆さんと一緒に

中学校部活動にとって今は大きな転換期。私たちはこの変化を、子どもたちの未来をより豊かにする「絶好のチャンス」と捉えています。市では、いち早く議論を始め、地域クラブ活動への円滑な転換に向けた準備を進めています。この新たな挑戦には、地域の皆

さんの支援が必要不可欠です。地域クラブ活動を支える仕組みとして「人材バンク」を設置し、指導者や運営を支えるマネージャーを募集しています。一人でも多くの皆さんにご登録いただき、地域全体で子どもたちの成長を支えていきましょう。

子どもたちの未来を照らす それぞれの思い

これまで地域クラブ活動の可能性や課題を探るため、サッカー、バスケットボール、軟式野球の3競技で、複数の学校の生徒が合同で活動する「地域クラブ活動モデル事業」を実施してきました。9月からは、3競技に加え、バレーボール、卓球、陸上競技、ソフトテニス、吹奏楽などで、休日の地域クラブ活動が始まります。その後、平日も段階的に地域クラブ活動を始めます。

今回は、それぞれの立場から地域クラブ活動に対する期待や課題、思いを聞きました。

■部活動と地域クラブ活動の違い

	部活動	地域クラブ活動
運営主体	学校	地域のスポーツ・文化芸術団体など
指導者	教職員、外部指導者	人材バンクに登録している指導者
活動場所	学校施設	学校施設や民間施設、公共施設など
活動単位	原則同じ学校の生徒	市内中学校の生徒
費用	無料、または少額	月会費や遠征費など実費負担(民間クラブより安価な金額を想定)

地域クラブ活動委託先 一般社団法人SASAERU

5年前、中学校の部活動の地域移行に関する記事を目にしたことが、部活動を取り巻く変化を知るきっかけでした。私たち自身、部活動で得た経験や仲間との出会い



(一社)SASAERUの西田剛さんと代表の網本亨さん

が、人生の中でかけがえのないものだったと感じています。だからこそ、誰もがスポーツや文化芸術活動に親しめる環境を整え、部活動に代わる居場所を作りたいとの思いで、令和6年2月に「(一社)SASAERU」を立ち上げました。

令和8年4月から、市の委託を受けて地域クラブの運営を行い、市と連携しながら移行に向けた準備を進めています。その中で課題となっているのが、子どもたちの移動手段や指導者の確保です。特に平日の活動では、部活動と同様



に参加しやすい環境を整えることが重要だと考えています。

地域クラブ活動を支えていくためには、地域の皆さんの協力が欠かせません。ぜひ人材バンクに登録していただき、一緒に子どもたちを応援しましょう。

活動を支えてくれる人材バンクにご登録を

地域クラブ活動の指導

者や活動をサポートするマネージャーを随時募集しています。募集競技や謝金など詳しくは、伊予市ホームページをご確認ください。

※登録により任用を約束するものではありません。

■対象 18歳以上の人

※高校生を除きます。

■要件 指導者は次のいずれかを満たすこと。

○市教育委員会や市内小・中学校長、市スポーツ協会の推薦がある

○(公財)日本スポーツ協会などの中央競技団体が認定する指導者資格がある

○指導種目や活動に関する専門的な知識・技能がある
※マネージャーに要件はありません。

■申し込み方法 申請書を持参、またはメールでご提出ください。

教職員

港南中学校軟式野球部顧問

部活動は、自分が未経験の競技の顧問を担当することもあり、参考書を買ってルールを覚えるところから始めなければならず、大きな負担になることもあります。地域クラブ活動になること



米澤浩さん

で、生徒は自分のやりたい競技に取り組みやすくなり、教職員も授業や生徒指導に、より専念できるようになります。また教職員が人材バンクに登録すると、自分が希望する競技で専門性を生かした指導もできるようになると思います。

指導者

港南中学校吹奏楽部

部活動の外部指導者として活動していますが、地域クラブ活動でも人材バンクに登録し、指導を続けていきます。部活動の形が変わっても、子どもたちが仲間と共に成長できる場は必要



大道彩さん

だと思います。技術指導だけではなく、子どもたちが「この地域クラブで続けたい」と思える環境づくりが大切だと考えています。

地域クラブ活動に向けて、学校や地域の皆さんと連携しながら進めていきたいです。

保護者

中学2年生の母親

部活動は、子どもたちの心と体の成長につながる大切な機会だと思います。これまでは学校が活動場所だったことで、子どもたちにとって参加しやすい面があったのではないでしょう



谷田綾子さん

か。地域クラブ活動になっても、無理なく楽しく親しめる環境が続いてほしいです。

送迎などで保護者の負担も増えるかもしれませんが、子どもと一緒に活動できる機会と前向きに考え、支えていけたらいいと思います。

生徒

伊予中学校2年生

伊予中学校にはサッカー部がないので、地域クラブ活動のモデル事業で港南中学校の生徒と一緒にサッカーができてうれしいです。最初は他校の生徒とうまくなじめるか不安でしたが、今

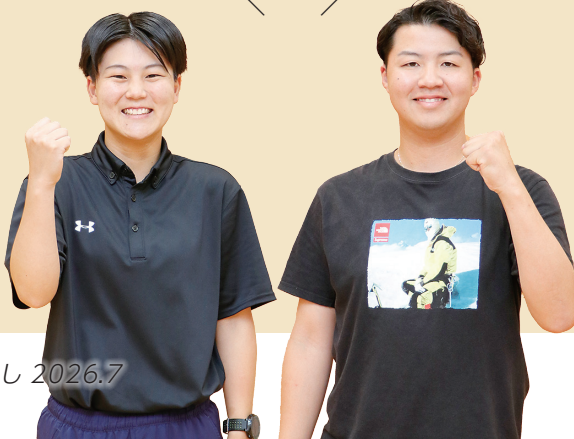


武智一心さん

では仲の良い友人も増え、交友関係が広がりました。地域クラブ活動では、元プロサッカー選手の西田剛さんがプロで培った経験を分かりやすく教えてくれるので、とても勉強になり、自分自身の成長や上達を実感しています。

一緒に盛り上げましょう！

尾関夏希さん(陸上競技)



林祐真さん(軟式野球)



▲詳しくはこちら

※申請書は伊予市ホームページでダウンロードできます。
■申し込み 社会教育課
(Eメール s-kyouiku@city.iyo.lg.jp)